

## 組織

会長	加藤 久夫	(東成瀬小学校)	
副会長	三浦 秀巳	(羽後明成小学校)	
事務局	仙道 真理子	(山田中学校)	井上 晴子 (羽後明成小学校)
研究部	長雄 義明	(雄勝中学校)	
幹事	池田 亜紀	(三梨小学校)	
会計	鈴木 陽	(湯沢東小学校)	

## 主な事業

秋田県児童生徒美術展地方展審査  
(湯沢市文化交流センター／11月13日)

会誌「このゆびとまれV o l . 2 0」  
製本・発送 (湯沢北中学校 / 令和3年1月26日)

冬季研修会講師：加藤久夫  
(ロイヤルホテル／令和3年2月下旬)

## 研究会の記録

### ◎秋田県児童生徒美術展湯沢雄勝地方展審査より

総出品数153点 (小学校112点・中学校41点) のうち、47点を本都市の入賞作品として県に推薦した。以下に今年度の審査講評からの特記事項を抜粋する。

#### (低学年)

想像したことやそれに対する思いや願いが作品に込められているものが目を引いた。1年生でのクレヨン中心の画材から、2年生では水彩絵の具の使用へと移行していき、絵の具を効果的に使って表現された作品が見られた。

#### (中学年)

クレヨンで線を描き、にじみやぼかしを使って表現した作品が多く見られた。色の美しさや技法の効果を楽しんでいる様子が伝わる。4年生は木を題材にしたものが多く、構図が工夫されているものが多かった。

#### (高学年)

校舎や風景を題材にした作品では、遠近法を取り入れたり多様な描画材を使用したりして表現していた。混色や重ね塗りを工夫し、表現したい物を追求した作品が多かった。自分の思いを表現するため硬い・柔らかい等の質感を出そうとしている作品も見られ、表現方法の工夫につながっていた。

#### (中学校)

2年生では切り絵と風景画、レタリングと絵画など複合的な題材設定が見受けられ、表現の深まりが感じられた。市を盛り上げるキャラクターや町のよさを表すポスターなど、地域題材が取り入れられた作品もあり、他教科との関わりが作品に見られた。

### ◎冬季研修会

講師：加藤久夫先生〈東成瀬小学校校長〉

演題：「美術教育を語る」※今年度で退職される加藤会長の記念講演を予定している。

